

Q&A

症 状	原 因	処 置
湯が冷めやすい	中せんセットがきっちりと閉まっていますか？	正しく閉めてください。
飲み物が出ない	湯が少なくありませんか？	湯を入れてください。
飲み物が出ない	水位管・弁セットが確実に取り付けられていますか？	確実に取り付けてください。
飲み物が漏れる	水位管・弁セットが確実に取り付けられていますか？	
飲み物が漏れる	弁キャップがゆるんでいませんか？	
製品をふるとシャカシャカという音がする	保温（保冷）効果を高めるために、本体内部に入っている銅箔（アルミ箔）がこすれて出る音です。異常ではありません。	

いずれの場合にもあてはまらない場合は、型名とともに買い求めの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

部品の交換・購入について

部品名	部品番号
抽出中せん	BR115001L
せんカバー	BR115002L
せんキャップ	BR115003L
メッシュパッキンセット	BR113801G
専用ブラシ	BR077037G
ステンレスボトル用洗剤 ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01-J

- 損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。（ホームページでのご購入は下記のお客様ご相談窓口参照）

消耗品（中せんセット）

中せんセットは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂がガラガラしていたり、損傷している場合は新しい部品に交換（有料）してください。

仕 様

型 名	SY-AH25
実 容 量	2.5L
保温効力	24時間 63度以上
保温効力	10時間 76度以上
保冷効力	10時間 9度以下

- 保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を満たし、湯温が95度±1度の時から24時間及び10時間放置した場合におけるその湯の温度。

- 保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を満たし、水の温度が4度±1度の時から10時間放置した場合におけるその水の温度。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0570-011874
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

- 携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）での問い合わせ……………Tel (06) 6356-2451

- ファクシミリでの問い合わせ……………Fax (06) 6356-6143
- 製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社

SY-AH25 / C

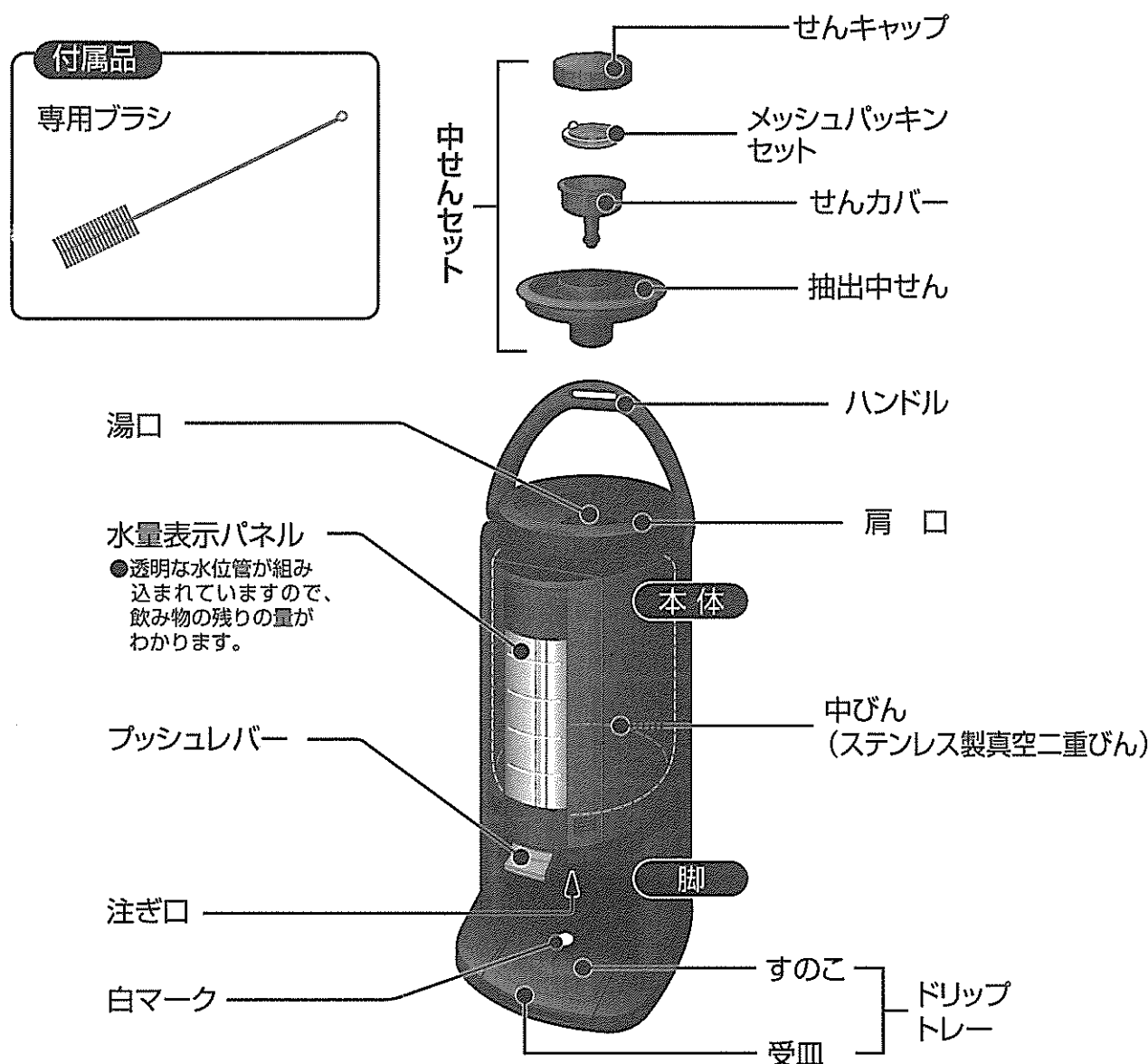
ZOJIRUSHI

真空ドリンクディスペンサー

SY-AH25 型

取扱説明書

各部のなまえとはたらき



● お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載しているイラストは異なることがあります。

ご使用前に必ずお読みください。そして大切に保管してください。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲み物の変質・変色・製品の故障や汚れを防ぐために次のことは、必ずお守りください。

乳幼児の手の届くところには置かない。
また、いたずらには十分注意する
やけどやけがなどの恐れがあります。

お手入れ以外での分解修理はしない
故障・事故の原因になります。

落としたり、ぶつけたり、製品に強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損する原因になります。

脚をつけた状態で本体を持ち運ぶ時は、脚レバーがきっちり止まっていることを確認する
けが・破損の恐れがあります。



飲み物はその日のうちに飲みきる

長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、中せんセットをはずすときに中せんセットが飛んだり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散する原因になります。

持ち運びの際には必ずハンドルを持つ

- 傾けたり横置きしない
 - ブッシュレバーに触れない
- やけどや汚れの原因になります。

飲み物を入れたときは、横転させない
また、傾けたり横置きにしない
やけどや汚れの原因になります。

車などにのせての移動はしない

やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。

飲み物は水量表示パネル(透明部)の範囲に入れる

入れすぎて中せんセットを閉めると、飲み物があふれる原因になります。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う

さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない

飲み物を入れての保温・保冷を目的としたものです。

保温性能が低下した製品は使用しない

熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなります。

ストーブやコンロなど火気の近くや直射日光のあたる場所で使用しない

変形や変色の原因になります。

弁セット内のキャップバック金は必ずつけた状態で使用する

漏れてやけどの恐れがあります。また汚れの原因になります。

中せんセットは確実に取りつける

飲み物が漏れる原因になります。

次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体の内圧が上がり、中せんセットが開かなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散する原因になります。

●牛乳・乳飲料・果汁など

成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散する原因になります。

●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
さびたり、保温・保冷力がなくなる原因になります。

●果肉・お茶の葉など

詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

コーヒーを入れて使う場合はミルク・砂糖は入れない

腐敗・変質や目詰まりして漏れの原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない 製品を損傷する原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しない

さびや穴あき(本体内側)など故障の原因になります。

●煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷やさび・変形など故障の原因になります。

●本体・脚・水量表示パネルの丸洗いはしない

水の侵入・さび・故障・他のものを汚す原因になります。

ご注意とお願い

熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。

中びんにはお湯を入れ、お茶のときは急須やティーバッグを使用してください。

使用後は必ず中せんセット・弁セット・水位管・水位管カバー・チューブ・ジョイントシールをきれいに洗う
放置しておくと、カビ発生の原因になります。

熱いやかんを肩口に触れさせない

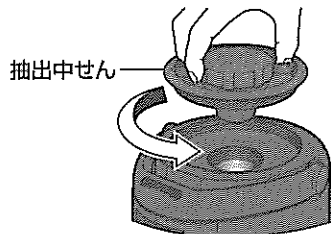
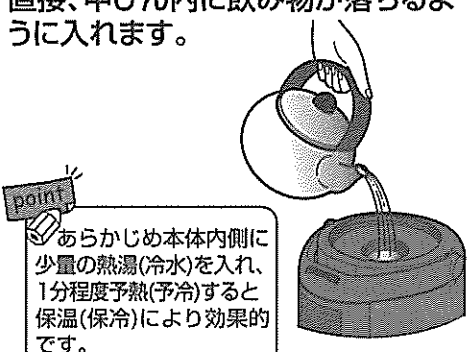
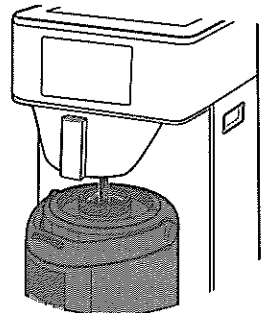
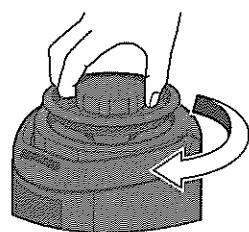
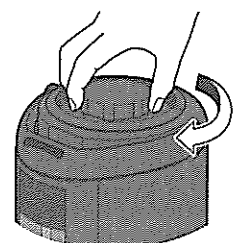
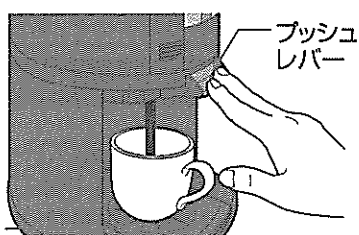
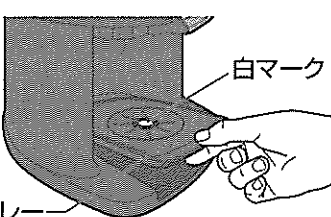
傷や変形の原因になります。

氷を入れる場合は先に飲み物を入れてから、本体を少し傾け、氷をすべらせるように静かに入れる。また、大きな氷は、押し込まず小さくしてから入れる。

変形し、故障の原因になります。

使い方

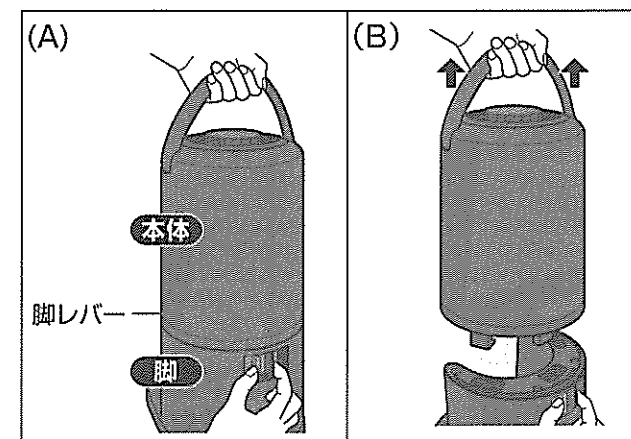
お使いになる前に中びん・湯口・中せんセット(取りはずす)をぬるま湯で十分に洗ってください。

	やかんなどで飲み物(コーヒー)を入れるとき	ブルーワーでコーヒーを入れるとき
1 抽出中せん(せんキャップ)をはずす	抽出中せんを矢印の方向に回してはずします。 	せんキャップを矢印の方向に回してはずします。 ●抽出中せんごとはずさないでください。 ●メッシュパッキンセットがついていることを確認してください。(細かいコーヒー粉が入るのを防ぎます。) 
2 飲み物(コーヒー)を入れる	直接、中びん内に飲み物が落ちるように入れます。  point あらかじめ本体内部に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。	抽出中せんの中心にコーヒーが落ちるように入れます。 
3 抽出中せん(せんキャップ)を取りつける	抽出中せんを矢印の方向に最後まで回し、取りつけます。 	せんキャップを矢印の方向に最後まで回し、取りつけます。 
4 プッシュレバーを押して飲み物(コーヒー)を注ぐ ドリフトレーの白マークに容器の中央部がくるように置き、プッシュレバーを押します。 ●注いでいる間は水位管の圧力が下がり、水位が動きますが異常ではありません。	 プッシュレバー ドリフトレー	
5 使用後、ドリフトレーを取りはずしてこぼれた飲み物(コーヒー)を捨てる ドリフトレーの受皿前部を持ち、斜めにして取りはずしてください。 (ドリフトレーは受皿とすのこの2部品からできています。)	 白マーク ドリフトレー	

飲み物の捨て方

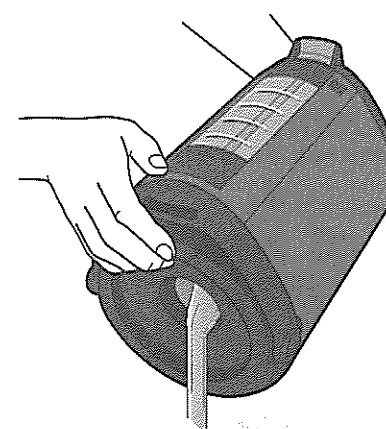
使用後、飲み物(コーヒー)が残っているときは下記の方法で捨ててください。

- ①脚背面の脚レバーをつまみながら(A)、本体のハンドルを立てた状態で持ち上げる(B)



- ②抽出中せんをはずし、水位管が上になるように傾けて、残った飲み物(コーヒー)を捨てる

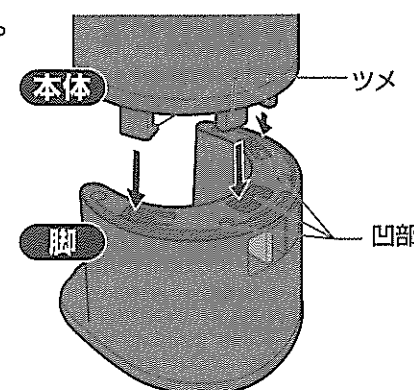
- 別の位置から飲み物(コーヒー)を捨てると、水量表示パネルと本体のあいだに飲み物(コーヒー)が入って、汚れや破損の原因になります。



- 飲み物を捨てた後は、本体を脚に取りつけてください。

本体底部のツメ(3カ所)と、脚の凹部(3カ所)を合わせて上から差し込む

- 脚背面の脚レバーが確実に戻るまで差し込んでください。



お手入れ

●いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.6参照)

本体(外装)・ハンドル・脚・水量表示パネル	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ固くしぼり、汚れをふき取る ②ぬるま湯を含ませてしぼった布で洗剤をふき取る
中びん	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシに含ませ洗う ②ぬるま湯を入れ、軽く振ってすすぎ洗いを2～3回し、洗剤を落とす
せんキャップ・抽出中せん・メッシュパッキンセット・せんカバー・底カバー・すのこ・受皿	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤に浸し、スポンジで洗う ②水で十分にすすぎ、洗剤を落とす
水位管カバー(上)(下)・弁・弁軸・弁スプリング・弁キャップ・水位管・下部接続チューブ・ジョイントシールゴム・止め具	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジやブラシ(付属品)に含ませ洗う ②水で十分にすすぎ、洗剤を落とす ●洗浄のとき、水位管はすべりやすくなっているため手から落とさないように注意してください。またブラシを水位管の中に無理に押し込まないでください。破損や傷・変形の原因になります。 ●下部接続チューブ・ジョイントシールゴムにブラシを無理に押し込まないでください。材質がシリコンゴムのため、破損の原因になります。

- 本体・脚・水量表示パネルの丸洗いは絶対にしないでください。
- スポンジ・布は柔らかいものを使用してください。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
- お手入れのときにはずした部分は必ず確実に取りつけてから使用してください。
やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。



赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより中びん内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せんセットを取りつけずに約30分～1時間置いたあと中びんの内壁をきれいに洗ってからご使用ください。
(上記「お手入れ」中びん参照)

茶しぶなどのお手入れ

- 中びんにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗浄剤 **ピカボトル**」をご利用ください。(別売品) → P.8「部品の交換・購入について」参照
- ピカボトルを使用する場合は、中せんセットを本体からはずしてください。

- 保管するときは、ポリ袋をかぶせて箱に入れ、高温・多湿の場所をさけて保管してください。その際、製品が汚れていないか、よく乾燥しているかを確認してください。

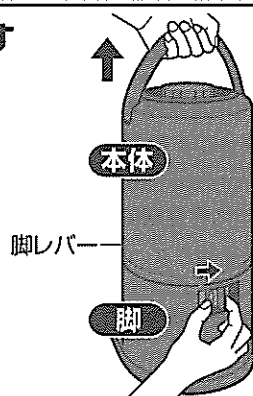
本体の分解・組立方法

- はずした部品は必ず確実に取りつけてから 使用してください。
- 使用前に本体に水を入れ、レバーを押して 正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認してください。

分解方法

1 本体を脚からはずす

脚背面の脚レバーをつまみながら、本体のハンドルを立てた状態で持ち上げる



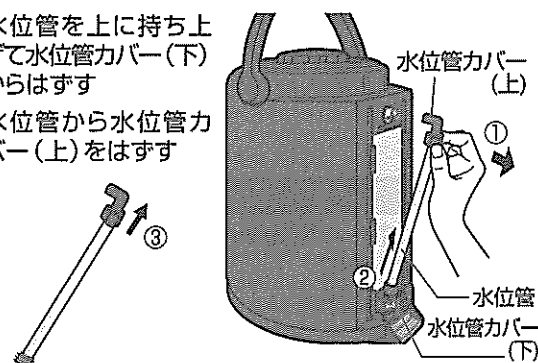
2 水量表示パネルをはずす

ハンドルを立てて、水量表示パネルの上部と下部のリブを両手で押さえながら上にスライドさせる



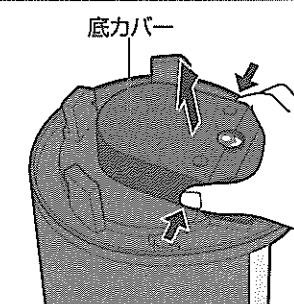
3 水位管・水位管カバー(上)をはずす

- ①水位管カバー(上)を手前に引いてはずす
- ②水位管を上を持ち上げて水位管カバー(下)からはずす
- ③水位管から水位管カバー(上)をはずす



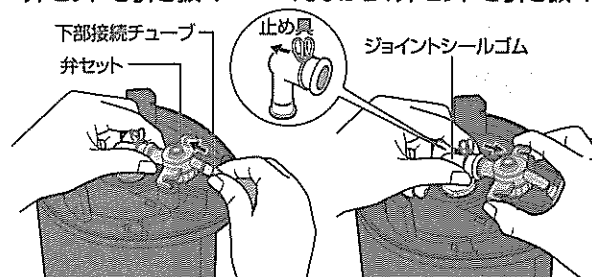
4 底カバーをはずす

本体を逆さにして底カバーの両側を矢印の方向へ押しながら上に持ち上げる



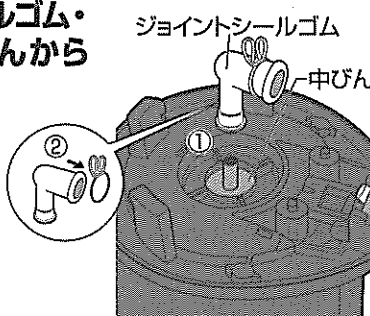
5 弁セットをはずす

- ①下部接続チューブを片手で押さえながら、弁セットを引き抜く
- ②止め具を矢印の方向にずらし、ジョイントシールゴムを押さえながら、弁セットを引き抜く



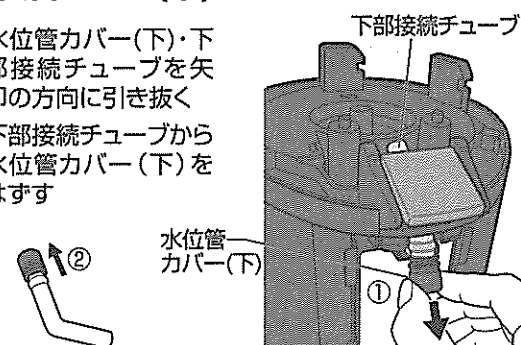
6 ジョイントシールゴム・止め具を中びんからはずす

- ①中びんからジョイントシールゴムをはずす
- ②ジョイントシールゴムから止め具をはずす



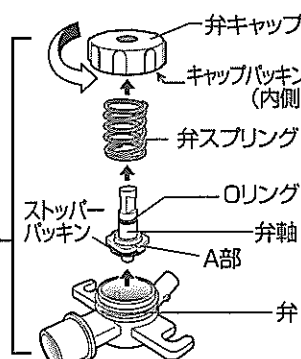
7 水位管カバー(下)をはずす

- ①水位管カバー(下)・下部接続チューブを矢印の方向に引き抜く
- ②下部接続チューブから水位管カバー(下)をはずす



8 弁セットを弁キャップ・弁スプリング・弁軸・弁に分解する

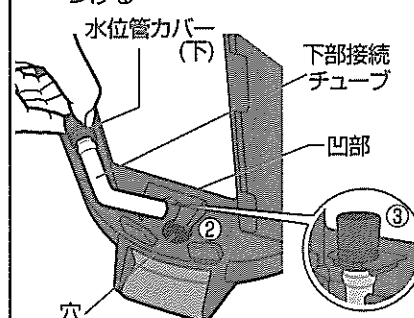
弁キャップを矢印の方向に回してはずし、弁スプリング・弁軸を取り出す



組立方法

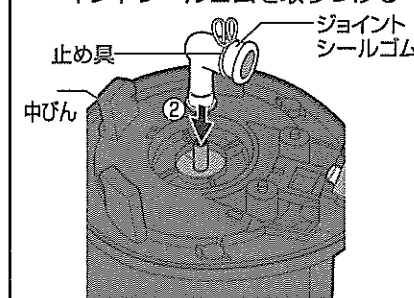
1 水位管カバー(下)をつける

- ①水位管カバー(下)に下部接続チューブを取りつける
- ②本体正面下部の穴に差し込む
- ③水位管カバー(下)を凹部に取りつける



2 ジョイントシールゴムを中びんに取りつける

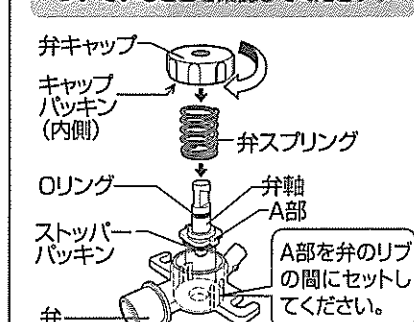
- ①止め具をジョイントシールゴムに取りつける
- ②本体を逆さにして中びんにジョイントシールゴムを取りつける



3 弁セットを組み立てる

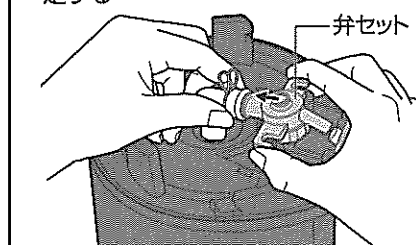
弁に弁軸・弁スプリングをセットし、弁キャップを矢印の方向に回してしっかり閉める

- 弁軸にストッパーパッキンおよびOリング、弁キャップにはキャップパッキンがついていることを確認してください。



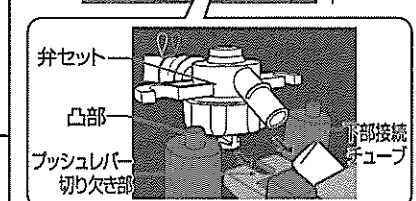
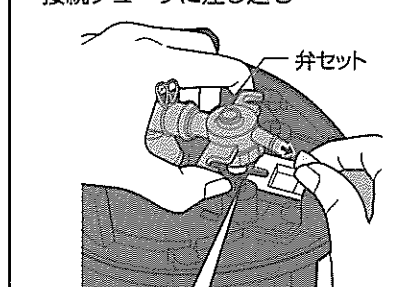
4 弁セットをジョイントシールゴムに差し込む

3で組み立てた弁セットをジョイントシールゴムに差し込み、止め具で固定する



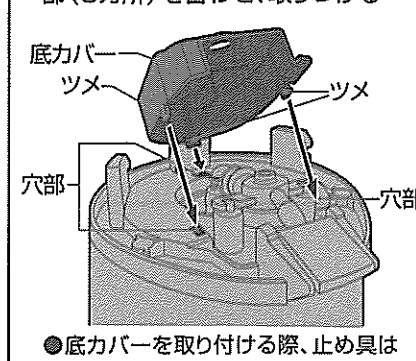
5 下部接続チューブに弁セットを差し込む

弁セットの凸部をプッシュレバーの切り欠き部に合わせた状態で、下部接続チューブに差し込む



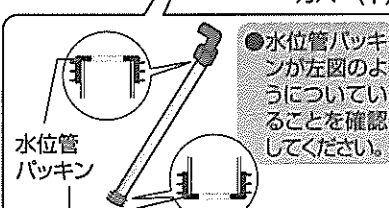
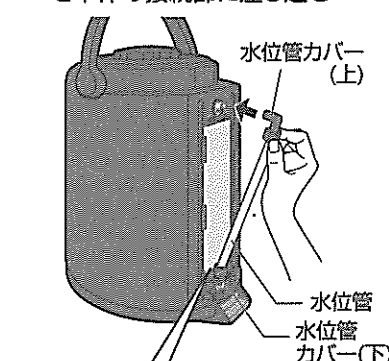
6 底カバーをつける

底カバーのツメ(3カ所)に本体穴部(3カ所)を合わせ、取りつける



7 水位管・水位管カバー(上)を本体に取りつける

- ①水位管カバー(上)に水位管を取りつける
- ②水位管を水位管カバー(下)に差し込んでから、水位管カバー(上)を本体の接続部に差し込む



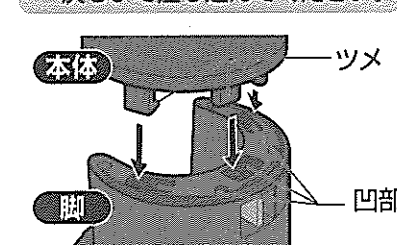
8 水量表示パネルを取りつける

- 分解方法「2」と逆の手順で取りつけてください。

9 本体を脚に取りつける

本体底部のツメ(3カ所)と、脚の凹部(3カ所)を合わせて上から差し込む

- 脚背面の脚レバーが確実に戻るまで差し込んでください。



10 本体に水を入れ、プッシュレバーを押して、正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認する